岐阜県立大垣北高等学校

野球部

令和４年６月更新

部員数

３年		２年		１年		合計	
２２		２０		１５		５７	
男	女	男	女	男	女	男	女
１９	３	２０	０	１２	３	５１	６

目標 モットー 活動内容 活動計画 特徴

◆目　標◆　① 野球を通しての人間形成
② 野球を通してのリーダーの養成
③ 甲子園での勝利

◆モットー◆

疾　風　勁　草

◆活動内容◆

(1) 通常練習：準備運動、守備練習、打撃練習、総合練習、筋力トレーニング　など
(2) 戦術練習：練習試合などを通して、セオリー・ルールを含めた総合練習
(3) 心身作り：体力診断・健康チェック、トレーナーによる筋力トレーニング、メンタルトレーニング、進路指導　など

◆年間活動計画◆

３月	：春季西濃地区大会	８月	：秋季西濃地区大会
４月	：春季県大会	９月	：秋季県大会
５，６月	：土日を中心に練習試合	１０，１１月	：土日を中心に練習試合
７月	：全国高校野球選手権岐阜大会	１２～２月	：技術練習・体力強化練習

◆週間活動計画◆

平日　2～3 時間程の通常練習（月曜日は休み）
休日　練習試合または半日練習

◆特　徴◆

野球の技術はもちろん、活動を通して社会で通用する人となるように、礼儀や真摯な姿勢･思いやりなどを学ぶことができます。学習についても、休日練習の午後は教室で学習するなど、チーム全体で意欲的に取り組んでいます。

主な成績

明治３２年(1899)　野球部創設
昭和２５年(1950)　選手権大会岐阜大会　ベスト４
昭和２６年(1951)　**全国高等学校野球選手権大会（甲子園）初出場　ベスト８**
国体出場(11月)
昭和２７年(1951)　選手権大会岐阜大会　ベスト４
昭和２８年(1952)　選手権大会岐阜大会　ベスト４
昭和２９年(1953)　選手権大会岐阜大会　ベスト８
昭和３１年(1956)　選手権大会岐阜大会　ベスト４
昭和３２年(1957)　選手権大会岐阜大会　３位、三岐大会二回戦進出
昭和３５年(1960)　選手権大会岐阜大会　ベスト８
昭和３６年(1961)　選手権大会岐阜大会　ベスト８
昭和３８年(1963)　選手権大会岐阜大会　準優勝

	昭和３９年(1964)　選手権大会岐阜大会　ベスト４ 昭和４０年(1965)　選手権大会岐阜大会　ベスト８ 昭和５３年(1978)　選手権大会岐阜大会　ベスト８ 昭和５５年(1980)　選手権大会岐阜大会　ベスト４ 平成　５年(1993)　選手権大会岐阜大会　ベスト４ 平成１６年(2004)　秋季県大会　ベスト８ 平成２６年(2014)　選手権大会岐阜大会　ベスト８ 令和　１年(2019)　秋季県大会　ベスト８ 令和　２年(2020)　2020 夏季岐阜大会　ベスト４
進学状況	大学入学年度 ／ **進　学　先**（既卒生含む） **令和３年度**：岐阜大医学部、筑波大、静岡大、金沢大、岐阜大（２）、滋賀大、同志社大（２）、立命館大、関西学院大、南山大（２）、名城大 **令和２年度**：京都大、名古屋大、金沢大（２）、広島大、鹿児島大、岐阜大 早稲田大、立命館大、南山大、日本大 **令和元年度**：京都大、名古屋大、大阪教育大、兵庫県立大、信州大、高知工科大、香川大、明治薬科大、早稲田大、中京大、岐阜医療科学大、創価大 **平成３１年度**：京都大、名古屋大（２）、名古屋工大、首都大東京、大阪府立大、静岡大（２）、信州大、金沢大（２）、岐阜大（２）、富山大（２）、南山大、早稲田大（２）、関西大 ※野球を３年間やり遂げ、現役で志望大学に合格する生徒が多数です。毎日の授業を真剣に受け、課題や小テストを大切にすると同時に、野球で培った体力・気力・集中力で引退後も必死に努力しています。 **★ 大学野球で活躍する先輩★** 近年、卒業後、大学でも野球を続ける選手が多くなってきました。 ここ数年では筑波大学、京都大学、名古屋大学、岐阜大学、金沢大学など、国立・私立を問わず、野球を頑張りながら大学生活を送っています。 その中には同志社大学でも中心選手として活躍し、現在も大阪ガスで活躍している選手や立命館大学で投手として活躍し、セガサミーで活躍している選手もいました。 時折、そのような先輩達がグラウンドを訪れ、大学の様子はもちろん、大学での高度な練習や技術などを教えてくれます。勉強のみならず、野球についても大変貴重な話が聞ける絶好の場が大垣北高野球部にはあります。
その他	高校野球とは甲子園を目指す野球ですが、同時に学ぶ者の野球・心の野球です。このことは単に技術や力量が甲子園にふさわしい者となるだけでなく、マナーの面においても、一人の生徒としての日常生活においても、甲子園のすがすがしさにふさわしいものにならねばならないということです。したがって、何より一人の人間としてのファインプレーを要求しています。
活動の様子	

◆2020 夏季岐阜県大会の戦績◆

１回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
海津明誠	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大垣北	0	4	0	0	1	0	0	0	×	5

２回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
池田	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
大垣北	2	2	0	2	1	0	0	0	×	7

３回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
岐阜城北	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
大垣北	2	0	0	0	0	3	1	0	×	6

４回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大垣北	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
飛騨高山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

準々決勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
大垣北	0	1	4	0	0	0	0	0	0	2	7
岐阜聖徳	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	5

準決勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
中京	1	0	0	0	0	1	0	2	3	7
大垣北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊27年ぶりベスト４

◆野球部の取組◆

近年の甲子園出場校または２１世紀枠候補を見ると各地域の進学校が名を連ねています。限られた時間の中で、自分たちの課題と向き合い、本業の学業に高い水準で取り組むことで夢舞台甲子園が見えてきます。本気で思うことで夢が現実になる日が必ずきます。

◇定期考査対策…目標設定

◇勉強会の実施

◇各学校行事の手伝い（会場準備、駐車場係、清掃、集会での挨拶）

◇ウエイトトレーニング指導

◇オフシーズン取り組み
- 食トレセミナー
- 社会人選手による技術指導、アナウンス指導（大阪ガス・西濃運輸）
- 他校との合同練習
- 大学との合同練習（京都大・同志社大）
- 社会人野球チームへの練習参加

◆食トレセミナー

高いレベルでのプレーを実現するためには強い身体が必要です。強く、ケガのない体を作りあげるために、どのような栄養を摂取する必要があるのか、どのタイミングで食事をするべきなのか、各自がパフォーマンスを高めるために日々『食』に対する意識を高く持っています。

◆社会人選手による技術指導◆

社会人野球選手を招き技術指導を行ってもらいます。打撃・守備・走塁、またはメンタルについて、多くの経験談を聞くことができます。甲子園で活躍し、プロを目指した選手もおり、より高いレベルでの技術指導を受けることができます。また本校ＯＢで社会人野球の舞台で活躍した選手からも指導を受けます。

大谷幸宏選手（本校 OB、大阪ガス、昨年度引退）

◆大学との合同練習◆

本校生徒が進学先の一つとして考える大学との合同練習、大学見学、大学紹介を大学野球部の協力のもと行っています。京都大学野球部・同志社大学野球部と合同練習、座談会等を行い、自らの将来を考える貴重な機会となっています。高いレベルでの文武両道をやり抜き、大学でも継続している選手、また、甲子園の大舞台で活躍した選手などから多くの技術指導、高校野球選手としてのあり方、日々の学習への向き合い方など多くを吸収することができます。また、受験を突破するための戦略など資料とともに貴重な話を聞くことができます。

◆年間通した練習試合◆

３月～１１月までは練習試合を行います。各県の進学校、ＳＧＨ推進校、２１世紀枠候補校、甲子園出場経験校、甲子園優勝経験校など、様々な学校との練習試合が組まれています。各チームから何を学び、自チームに活かしていくのか。意志あるものが日々成長することができるのです。